



令和6年度 朝日町立西五百川小学校だより

ポ プ ラ



第9号

令和6年2月14日

校長 清野 雅紀

スキー教室とスキー記録会

積雪がたっぷりとある冬です。去年は雪が少なかったのですが、これで例年通りということでしょうか。子どもたちは、たっぷりの雪を楽しんでいます。

1月22日(水)と1月29日(水)に、スキー教室を行いました。



22日は、1～4年生までの参加です。保護者の方々、スキースクールの先生に丁寧に教えていただくと、みるみる上手になっていきました。そして、29日は全学年の参加で行いました。1～4年生までは、ポールをセットして記録を取りました。ポールがあるということは、当たり前ですが、自由に滑ることはできません。ポールで制限されたコースを滑るには、スピードやターンをコントロールしなければなりません。最初は、スピードを出すことを怖く感じます。始めはそろそろとゆっくり慎重に滑っていきます。けれども、何度もポールに挑戦するうちに、



スピードを出せるようになってきます。次第にスピードが出ても安定して滑ることができるようになるのです。ターンとターンのつながりもスムーズになってきます。こうなると、ポールを張っていない普通のゲレンデでも、スピードを出したり、ターンをコントロールしたりすることが上達し、スキーがずっと楽しくなってきます。

朝日町の子どもはスキーが上手ですが、西五百川小の子どもたちは、特に上手です。保護者の方々がスキーに連れて行ってくれて、楽しく教えてくださるからでしょう。スポーツ少年団で活動したり、「いもがわ少年教室（西部公民館事業）」に参加したりしている人も多くいます。もちろん、学区内に Asahi 自然観スキー場があるという“地の利”に恵まれていることもあるでしょう。



学校でスキー教室を実施するに当たり、朝日町が2回分のスキー教室（5・6年生は1回がスキー記録会となります）についての経費のほとんどを負担してくれています。内訳は、団体リフト券（一人900円）、スキーインストラクター費用（一人14,000円で西五百川小では7人に依頼しました）、交通費（スクールバス、記録会は貸し切りの大型バス）、とかなりの額になります。これが、3つの小学校分ということになります。他市町で、これだけ厚い助成をしてくれるところはありません。心から感謝いたします。そして、スキー指導やスキー運搬にご協力くださった保護者の方々にも、心から感謝いたします。お忙しい中、子どもたちのためにご協力いただき、誠にありがとうございました。

朝日町小学校スキー記録会 入賞者

❄️🌨️おめでとう🌨️❄️

5年男子	5位
6年男子	1位
〃	3位
〃	6位
6年女子	2位



2月5日（水）は、朝日町小学校スキー記録会でした。町内の5・6年生が、磨いてきたスキー技術で競い合います。この記録会では、出場した児童全員が、最後まで滑り切りました。誰ひとり、旗門不通過の失格がありませんでした。スピードの差こそあれ、全員が安定したスキー技術であったと感じました。当日は、今シーズン最強寒波といわるほどの大雪と低温で、雪が降り続く天候でしたが、子どもたちは元気いっぱいでした。晴れて雪山が眩しい冬晴れもいいのですが、雪が吹き付ける厳しい吹雪もまた、自然の表情です。人知の及ばぬ自然の力を、あらがわず受け入れ、辛抱することも仕方ないのです。

最上一平さんから本をいただきました

最上一平さんは、朝日町上郷出身の児童文学作家です。毎年、町内の3つの小学校に御著書をご寄贈いただいています。昨年度いただいた『じゅげむの夏（佼成出版社）』は、今年度の青少年読書感想文全国コンクール 課題図書にもなり、産経児童出版文化賞 JR 賞、小学館児童出版文化賞も受賞しています。

今年度は、『ようかいばあちゃんとようかいだんしゃく（新日本出版社）』『ようかいばあちゃんちのおおまがどき（同）』、そして、『緑の葉っぱのパン（同）』の3つの御著書をご寄贈いただきました。

子どもたちも大好きな「ようかいばあちゃん」シリーズは、昔の朝日町の山村を思わせる舞台、ようかいばあちゃんとユニークなキャラクターによる心温まるストーリーの展開、これらの心温まる物語の世界に引き込まれます。児童向け図書ですが、私も読みました。大人でもその世界観に引き込まれてしまうでしょう。ご一読をおすすめします。



ストーリー

主人公の女の子の住む街は、砲撃やミサイル攻撃で爆撃され、主人公の女の子の家も、開いたばかりのパン屋ごと破壊されてしまいました。女の子はお母さんやみんなと一緒に避難するところです。街を守るために残るといってお父さんを残して。

「お父さんの焼いたパンを食べさせてね。」お父さんは、スマホで家族の写真を撮り、家族を見送ります。でも、本当は、お父さんはパンの店の襲撃のときに死んでいたのです。…。

平和を学ぶには、戦争を知ること

国際機関の世界経済フォーラムが、2025年の世界の最大のリスクは国際間の武力紛争を挙げたことが先月報じられていました。現在続いている戦争や武力紛争には、様々ありますが、代表的なのは、3年前から継続しているロシアとウクライナの戦争です。また、イスラエルとパレスチナの対立は、激化する一方です。ハマスはパレスチナの一部であり、イスラエルに対して武力行使を行うこともありました。2年前ハマスの攻撃で、1,200人のイスラエル人が犠牲になり、251人が人質となりました。そして、イスラエルはハマスへの報復として、空爆やミサイルで攻撃し、これまで46,000人以上が死亡したといわれていますその結果、ガザ地区では病院なども破壊され、食料や水などの基本的な生活必需品の不足が深刻化しています。

昨年、日本の日本原水爆被害者団体協議会が、ノーベル平和賞を受賞しました。日本は国際社会から紛争解決に向けた積極的な役割が期待されています。そのために、学校教育にできることは何があるのか考えてみなければなりません。その第一歩として、今、世界で起きていることに目を背けずに、正確に知る必要があると思います。

令和7年3月の予定

[illegible]